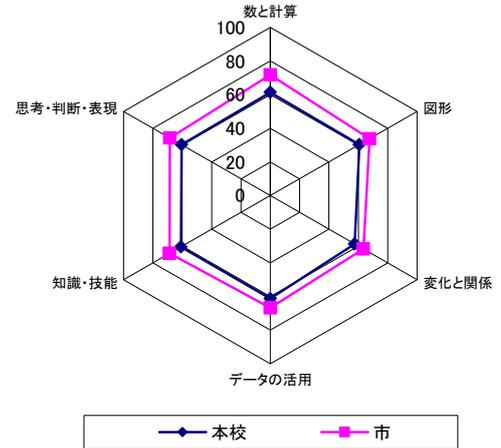


# 宇都宮市立桜小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	61.4	71.8	76.2
	図形	60.8	67.7	67.8
	変化と関係	57.5	63.4	62.7
	データの活用	61.3	66.7	61.5
観点別	知識・技能	60.9	68.6	70.7
	思考・判断・表現	60.5	68.5	66.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○文字の式に関する問題においては、市の平均正答率を上回った。</p> <p>●小数・分数の計算に関する問題においては、市の平均正答率を大きく下回った。</p>	<p>・小数・分数の計算問題については、児童が計算技能を正しく把握できているか確認したり、簡単な数に置き換えて考えさせたりして、数学的思考力を高めるようにする。さらに計算練習を繰り返し、より正確な計算技能が身につくよう指導していく。</p>
図形	<p>○正多角形・合同・立体と対称な図形に関する問題においては、市の平均正答率を上回った。</p> <p>●正五角形の作図方法から、円の中心の周りにできる角の大きさを求める問題では、市の平均正答率を17.9ポイント下回り、全国平均正答率を21.3ポイント下回った。</p>	<p>・面積や体積の問題では、長方形の面積や直方体の体積の求め方を活用して、様々な図形の面積や体積が求められることを視覚的にイメージできるようにデジタル教材などで確認するとともに、体積や面積を求める学習を繰り返していく。</p> <p>・正多角形の学習では正多角形を作図するだけでなく、作図した図形の内角を求める学習にも取り組むようにし、正多角形の性質の理解を図る。</p>
変化と関係	<p>○単位量あたりの大きさ・速さの問題では、平均正答率が市・全国と同等または上回った。</p> <p>●割合・割合のグラフの問題では、平均正答率が市より20.5ポイント下回った。</p>	<p>・割合については、表や図から考察する力が十分に身につけていない。引き続き、基準量と比較量について意識させ、表や図を用いて考える力が身につくよう指導していく。また、記述式の問題に取り組む機会を増やし、考え方や解答の仕方などに慣れるよう指導する。</p>
データの活用	<p>○平均・データ見方の問題では、平均正答率が市・全国と同等または上回った。</p> <p>●割合についての帯グラフを読み取って説明する記述問題では、平均正答率が市より17ポイント下回った。</p>	<p>・グラフから読み取ったデータの特徴や傾向から考えたことを話し合う活動を充実させ、児童がグラフを活用することの良さを実感できるような指導を継続していく。</p> <p>・代表値の見方や求め方などを繰り返し指導するとともに、具体的な場面と関連付けて考えさせたり、日常生活でも活用する機会を増やしたりする。</p>